

令和元年度 飯岡地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年5月24日(金)

No	懇談事項	説明	担当部課名
1	<p>町内会の世帯数等の情報提供と地域格差が生じないような施策の展開について</p> <p>飯岡地区町内会で、特に永井地区3町内会（上永井・中永井・下永井）においては、町内会に実質どのくらいの世帯数があるか把握できていないことから、行政として飯岡地区各町内会の世帯数・男女別・年齢別のデータ等の処理をしていただき、各町内会に提供していただきたいし、地域間格差が生じないような施策の展開について懇談したい。</p> <p>盛岡市政の中で住民基本台帳「人口町字別」「年齢5歳階級別」「男女別人口及び世帯数」について、旧都南地区を各町内会別単位で作成されていないので、地域コミュニティ活動に影響が出ている状況にあります。</p> <p>ちなみに平成30年3月末の住民基本台帳では、永井地区人口が8,287名、世帯数3,567世帯ですが、各町内会で会費を徴収しているのが上永井492世帯、中永井769世帯、下永井1,300世帯であり、永井3地区の合計世帯数が2,561世帯であり、約1,000世帯の開きがあります。</p> <p>是非正確な世帯数や年齢別分布等を把握して町内会運営や地域コミュニティ活動を行いたいと思いますので、そうしたデータ処理と情報の提供をお願いしたい。</p> <p>このことについては、以前、市民協働推進課に相談した</p>	<p>町内会・自治会の世帯数等のデータですが、町内会・自治会の区域は様々な経緯を踏まえ地域の皆様により自主的に定められたものであり、住民基本台帳上の住所（永井〇地割など）とは正確に整合していないものであると認識しております。</p> <p>現状では、各町内会・自治会の世帯数・男女別・年齢別のデータ等を早期に処理することは困難な状況にありますが、御指摘のデータを把握・活用することは、地域活動事業の展開に際し有効であると存じておりますことから、今後、統計情報の所管課とも協議を行いながら、御要望のありましたデータ処理と情報の提供について検討してまいります。</p> <p>また、地域活動拠点として、永井地区に新たに「永井地</p>	<p>市民部 市民協働推進課</p>

令和元年度 飯岡地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年5月24日(金)

No	懇談事項	説明	担当部課名
	<p>経緯もございます。</p> <p>また、上永井地区は東北本線で分断されておりますし、飯岡駅東側に位置する下永井・中永井地区とでは社会基盤整備や公的施設を利用するのに不便を感じることもありますことから、3地域の格差が生じないような行政施策をお願いしたい。特に、高齢者が集える施設がないため、既存の施設まで行くのが不便である。地区内にそういった施設をつくって欲しい。</p> <p>(上永井自治公民館)</p>	<p>域交流活性化センター」を整備する予定でありますことから、令和2年4月1日供用開始以降の積極的な御利用をお願いします。</p> <p>J R東北本線に分断された東西地域の格差が生じないような行政施策については、西側地域において平成28年7月に完成した市道岩手飯岡駅南公園線に続き、西側地域と東側地域を結ぶ岩手飯岡駅東西自由通路の整備を令和4年度の完成を目標に取り組んでおり、完成後は東側の公共施設等へのアクセスが向上するものと存じております。</p> <p>なお、西側地域内においては、永井小学校への安全で円滑な通行を確保するため、市道永井街道線の整備に取り組んでおります。</p> <p>永井地区については、令和2年度に「永井地域交流活性化センター」が供用開始予定となっております。</p> <p>改修後の施設におきまして、高齢者を対象とした介護予防事業に積極的に活用してまいりたいと考えており、介護予防ヨガ教室や介護予防太極拳教室を通じた自主サークルの育成、住民主体のシルバーリハビリ体操の実施などに取り組んでまいります。</p> <p>また、地域の自治公民館を活用した高齢者の健康教室などに、長寿社会課の保健師が御要望に応じて出向いておりますので、今後の活動などに御活用いただきたいと思います</p>	<p>建設部 道路建設課</p> <p>保健福祉部 長寿社会課</p>

令和元年度 飯岡地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年5月24日(金)

No	懇談事項	説明	担当部課名
		す。	
2	<p>高齢化社会における公共交通の確保策や地域コミュニティバス等の運行について</p> <p>現代社会における核家族化が進み、地域の高齢化率も増す中において、独居高齢者世帯や高齢者同居世帯も増加しています。</p> <p>買い物についても交通弱者となっている方の一部は、移動販売車や通信販売を利用してあります。</p> <p>また、高齢になり「運転免許証」を返上したら買い物や通院などの移動が困難となるなどの不安の声も多くあります。</p> <p>こうした状況の中で、盛岡市としては、市街地は立地適正化計画を策定し、コンパクトシティ化を図っていくようですが、飯岡地域では、市街化区域と市街化調整区域の町内会が混在しており、その中でも市街化調整区域内の飯岡の西側地域はバス停までの距離があって、高齢者が利用できない地域も多くあります。</p> <p>特に課題としてあげられるのが、通院に対する公共交通の確保です。</p> <p>近隣の医療機関（友愛病院・日赤病院等）までの相乗りボランティアによる送迎を検討しても「他の人を乗せて運転することに不安を感じる。」とも言われます。</p> <p>盛岡市において、今後このような地域に対する公共の交</p>	<p>飯岡地区の公共交通は、主にバスが担っておりますが、飯岡地区の西側地域には、公共交通の利用ができない公共交通空白地があるものと存じております。</p> <p>市では、「盛岡市地域公共交通網形成計画」を令和元年度に策定する予定であり、この計画では、公共交通空白地における移動手段の確保を課題とし、地域コミュニティバス等の交通サービスの導入を検討していくこととしております。この検討の際には、確保する交通サービスが、持続可能なものとなるよう、交通事業者と市が連携しながら、NPOや地元自治会等が運営できるような移動手段の確保・導入に向け、地域の皆様や関係機関と協議してまいります。</p>	建設部 交通政策課

令和元年度 飯岡地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年5月24日(金)

No	懇談事項	説明	担当部課名
	<p>通政策と公共的通院バス運行や地域コミュニティバス等の運行策について行政と地域で協議していく場も必要と考えますが、どのように考えておられるのでしょうか。</p> <p>(油田自治公民館)</p>		